

はじめに

今日の我々の住宅では、畳での床座の生活と板の間での椅子座の生活というようにはっきりわけられない生活を送っている。確か2、30年程前にはこのような、畳の部屋と板の間の部屋がいくつかあって、それらを板敷きの長い廊下でつないでいる住宅に暮らしていたように思う。年々生活様式が変化している。

今日では、マンションでのじゅうたん敷きのリビングルームにこたつを持ち込む生活、ダニを嫌って板の間に改装しても敷き物を敷いてこたつを置きつける生活、じゅうたん敷きの子供部屋で布団で寝る生活、玄関たたきとホールの段差が少ない生活、床座にも適した背の低い洋家具の設置、床面の段差をなくした生活などがみられるようになっている。

現在の住宅における床座と椅子座の混用は、和洋折衷ではなく和洋混用の生活を生みだしている。

和洋折衷で生まれたスリッパを今我々はどのように使っているのだろうか。スリッパを脱ぎ履きする場所を示していた床の段差と床材の変化は現在どうなっているのだろうか。どこで履いてどこで脱ぐのかとまどうことはないだろうか。

本研究ではまず最初に、スリッパがどうして我々の生活に存在しているのか、靴を脱ぐ文化にさかのぼって資料を調べてみた。

次にスリッパの使われ方をアンケート調査及びインタビュー調査をおこない、スリッパの使用状況と、住まいの中を動き回るスリッパの動きを調べた。

最後にスリッパの使用と床座の関係、床材の関係そしてスリッパを脱ぐ位置に着目して分析をおこなった。